

第5回千駄木小学校等改築基本構想検討委員会

会議録

日時	令和5年3月22日(水) 18:30~19:25	場所	文京区立千駄木小学校 体育館
委員 事務局	<p><委員> (出席)</p> <p>委員長 八木 茂 (教育推進部長の職にある者)</p> <p>副委員長 木村 健 (教育推進部学務課長の職にある者)</p> <p>委員 蕨 英和 (千駄木小学校 PTA)</p> <p>委員代理 辻 美智子 (大井 明彦委員代理) (文林中学校 PTA)</p> <p>委員 長沼 阿希代 (千駄木幼稚園 PTA)</p> <p>委員 武井 彩子 (千駄木育成室父母会)</p> <p>委員 藤井 隆弘 (文林中学校育成室父母会)</p> <p>委員 沖元 享正 (文林中学校第二育成室父母会)</p> <p>委員 中村 啓 (学校運営連絡協議会)</p> <p>委員 舟橋 菊男 (千駄木小学校同窓会)</p> <p>委員 松本 正 (通学区域内町会・自治会 (千駄木西林町会))</p> <p>委員 菅 完治 (通学区域内町会・自治会 (千駄木三丁目北町会))</p> <p>委員 藤森 源弥 (通学区域内町会・自治会 (上動五三会))</p> <p>委員 富永 修紀 (通学区域内町会・自治会 (動坂中町会))</p> <p>委員 内藤 マリ子 (通学区域内町会・自治会 (動坂町会))</p> <p>委員 相澤 夏紀 (汐見青少年健全育成会)</p> <p>委員 石川 浩司 (教育推進部児童青少年課長の職にある者)</p> <p>委員 山口 麻衣 (千駄木小学校校長の職にある者)</p> <p>委員 多比良 由恵 (千駄木幼稚園園長の職にある者)</p> <p>委員 宮原 直務 (教育推進部副参事の職にある者)</p> <p>委員 横山 尚人 (企画政策部企画課長の職にある者)</p> <p>委員 大畑 幸代 (施設管理部整備技術課の職にある者)</p> <p>学識経験者 長澤 悟 (株式会社教育環境研究所理事長 東洋大学名誉教授 (工学博士))</p> <p><委員> (欠席)</p> <p>委員 大井 明彦 (文林中学校 PTA)</p> <p>委員 島津 威仁 (地域学校協働本部)</p> <p>委員 高橋 毅喜 (通学区域内町会・自治会 (千駄木東林町会))</p> <p>委員 杉山 直之 (文林中学校校長の職にある者)</p> <p>委員 赤津 一也 (教育推進部教育指導課長の職にある者)</p> <p><事務局></p> <p>熊野 巧 (教育推進部学務課)</p> <p>瀬島 ひかり (教育推進部学務課)</p>		

	<p><コンサルタント> 株式会社マヌ都市建築研究所：板谷龍 二郎、道家 祥平、小松 妙子、今井 文子</p>
次第	<p>1 開会 2 改築範囲の決定について 3 今後のスケジュールについて 【資料第1号】今後のスケジュールについて（予定） 4 その他 次回の議題・日程について 5 閉会</p>
議事録	
<p>1 開会</p> <p>○事務局：定刻となりましたので、只今より第5回文京区立千駄木小学校等改築基本構想検討委員会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、ご多忙の所、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は事務局を務めます教育委員会学務課施設担当の熊野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本日の委員の出欠状況について、ご報告申し上げます。</p> <p>まず、大井委員、島津委員、高橋委員、杉山委員、赤津委員から欠席のご連絡をいただいております。なお、大井委員の代理として、文林中学校PTAの辻様にご出席をいただいております。ありがとうございます。</p> <p>次に、本日の配付資料の確認をさせていただきます。【資料第1号】のみ配付しておりますが、過不足等はありませんでしょうか。</p> <p>< 2 改築範囲の決定について ></p> <p>○事務局：続きまして、次第の2「改築範囲の決定について」に移ります。これより司会進行は八木委員長よりお願いいたします。</p> <p>○八木委員長：委員長の八木でございます。着座で失礼いたします。まず、前回（12月23日）の内容について振り返りたいと思います。</p> <p>前回の検討委員会では、事務局から3点お話しさせていただきました。</p> <p>1点目は、千駄木小学校と文林中学校の道路を廃止する場合の手続きについてです。結論として、「道路を廃止することは、非常に難しい」ということをお話しさせていただきました。</p> <p>2点目は、「千駄木小学校単独の場合」、「千駄木幼稚園を加えた場合」「更に文林中学校を加えた場合」の改築範囲ごとに、現時点で考えられる配置想定をお示し致しました。ここでは、敷地内に育成室を整備することや、運動場の確保等について、質疑応答をさせていただきました。</p> <p>3点目は、施設併設型・一体型小中学校等の先進事例をお示し致しました。</p> <p>また、今後の検討委員会のスケジュールを示し、効率の良い委員会運営に努めてほしいとのご意見をいただきました。</p> <p>本日は、前回お話ししましたとおり、まず委員お一人お一人から、改築の範囲についてご意見をお聞</p>	

かせいただき、その後、委員会として、改築範囲を決定したいと考えております。その後に、前回ご意見としていただいた検討委員会の進め方について、後程事務局から次第3のとおり今後のスケジュールをご説明させていただきます。よろしいでしょうか。

それでは、改築の範囲について、「千駄木小学校のみ改築を行うか」「千駄木幼稚園も含めるか」「更に文林中学校も含めて一体的に改築を行うか」、前回の委員会の後、推進母体と情報共有いただいたと思いますので、そちらも踏まえて、お一人ずつご意見をいただければと思います。

それでは、千駄木小学校PTA蕨委員より、順番にお願いいたします。

○蕨委員：前回委員会での改築にあたっての検討内容を踏まえて、一体的改築が望ましいと思っております。改築範囲によっては、メリット・デメリットがあるかと思いますが、工期の点からも、一体的改築でやっていただくのがよろしいかと思っております。

○辻委員代理：前回委員会の議事録を読ませて頂き、気になった点を言わせていただきます。1点目は、文林中学校は既に改築されたので綺麗なのですが、それをまた改築するという事で、税金の無駄遣いと言われかねないと感じております。2点目は、文林中学校は1年生が2クラスあり、人数が増えています。生徒数が増えてきた中で改築の話があると、また少なくなってしまうのか、そこはうまくやって欲しいと思います。一体的改築については、大井さんも賛成ですし、私も賛成です。幼稚園、小学校、中学校と連携し、通いたくなる中学校になって欲しいと思います。

○長沼委員：千駄木幼稚園PTAから改築にあたってのご意見を頂きました。私どもは子どもを育てているので、くらしのみちの利用は欠かせません。特に子どもを抱えながら通るので、工期短縮が一番の願いです。学校施設の改築にあたり、いずれ工事をしなくてはならないなら、工期が短い一体的改築をお願いしたいです。

○武井委員：前回の検討委員会の内容を千駄木育成室父母会の役員に報告しました。特筆すべき意見はありませんが、一体型的改築が望ましいというご意見が多くありました。工期が短く、子どもへの負担も小さく、伸び伸びとできる育成室を含めた改築になればありがたいと感じております。

○藤井委員：文林中学校育成室父母会にご説明したら、特段意見はありませんでした。ただ、一体的改築で進められるのが望ましいのではないかという意見は頂いております。また、地域の野球やサッカーチームでは小・中学校のグラウンドを使っているのですが、改修工事期間にグラウンドが使えなくなってしまう場合に、何かしら手立てがあると良いという意見が挙げられました。授業での体育は別の場所を確保するといった話がありましたが、授業や学校行事だけではなく、地域での利用についても配慮いただければと思います。

○沖元委員：文林中学校第二育成室父母会で報告しました。結論から申し上げますと、幼・小・中一体的改築を皆さん望まれているということでした。理由としては、周辺住民、教育機関の2つの軸で考えたときに、安全性と有効性を考えると工期が短いのが良いということです。安全性の面では、工事が長

期化した場合には、ずっと工事車両が行き来することになり、周辺住民や子どもの安全が脅かされるし、有効性という面では、数十年工事し続けるよりも、工期の短縮などからも幼・小・中一体的改築が望ましいということで、全員一致で決まりました。

○中村委員：学校運営連絡協議会でも幼・小・中の一体的改築が望ましいのではないかという意見でした。前回委員会で小学校と中学校の間の道路について、廃道は非常に難しいとご説明いただきましたが、道路に関する意見としては、小学校と中学校の間の道路を無くして広いスペースを確保できないか、文林中学校の体育館脇の細い路地について、防災の観点から地域の方にご理解いただいて、消防車が入れるような、道路を整備できないかというご意見を頂きました。その他のご意見として、千駄木幼稚園の先に公園がありますが、そこも含めて改築を検討いただけないかというものも挙げられました。

○舟橋委員：これまでの委員会でのご意見を聞いていると、幼・小・中の一体的改築が望ましいように感じております。意見としてはみなさんと同じで、広ければ広い方が、色々なアイデアも出てくるし思い切った校舎がデザインできるのではないかと感じておりますので、一体型改築で進めていただきたいと思います。

○松本委員：委員会への参加を通じて皆さんのご意見を聞き、改築に向けた様子はわかっています。道路については、今あるものが無くなると困るという意見を聞いています。今ある道路は維持していただきたいです。その他、幼・小・中と一緒に改修するのか、それとも工期をずらして幼・小・中を別に工事するのかは、まだ決定していないと思います。ただ、一緒にやるというのは、皆さんの意見としてあるようなので、一体的改築の方向に進むのではないかと考えています。

○菅委員：前回委員会は欠席しましたが、委員会資料と皆さんのご意見を確認し、一気に工事を終わらせた方がスムーズなのではないかと思えます。一体的改築でお願いしたいと思えます。

○富永委員：前回の委員会の後、町会に持ち帰らせていただいたところ一体的改築が良いという意見をいただきました。工事する上での問題点としては、前面道路が狭いという問題が挙げられ、現状の道路で工事車両はスムーズに行き来できるのかという意見が挙げられました。また、幼・小・中それぞれを改修する場合には、千駄木小学校から始めるのか、などの意見が上がりましたが、今後の話し合いのもとで決まるのだろうとなりました。改築プランも示して頂き、工期もこれから決まるのではないのでしょうか。道路の改善は前回の委員会で現実的ではないということでしたが、改修工事に際して道路環境が改善されると良いという意見が挙げられました。

○内藤委員：町会の役員会で前回委員会資料を配付しました。子どもたちや住んでいる方の安全面を考える上で工期が短いものが、一番メリットがあるのではないかと意見がありました。改修工事の年度にあたった子どもは負担になり大変かもしれませんが、工期は一括で終わるように、全部一緒に工事していただきたいです。工期をずらすと、タイミングによっては小学校から中学校に進学する中、ずっと工事期間に当たるという事態も考えられるので、工期短縮かつ全部同時期に工事していただき、費用が

かかるかもしれませんが、一番良いのではないかと私も思うし、みんなも同様の意見でした。

○相澤委員：前回委員会を欠席したのですが、検討内容を見せて頂き一体的改築が良いと考えています。工期やコストの面を考えると最も良いと思います。千駄木小学校の老朽化から改築の検討がスタートしていることから、千駄木小学校だけでもよいと思いましたが、一体的改築が一番効率的だと感じています。

○八木委員長：皆様、ありがとうございます。皆さんの推進母体で議論していただき感謝申し上げます。

それでは、いただいたご意見を踏まえまして、この場で、改築の範囲を決定したいと思います。

先程、「千駄木小学校・文林中学校・千駄木幼稚園を一体的に改築する」というご意見を多数いただきました。これ以降、中学校、幼稚園、育成室を含めた一体的改築の方向で検討を進めてまいります、よろしいでしょうか。

(合意)

皆さんからご意見を頂き、改築の方針としてのベースとしては一体的改築が決まりました。今後、報告書を作成する上で更にご意見を伺っていききたいと思います。そこからどうするのかで進めていきますので、ご協力いただきたいです。

< 3 今後のスケジュールについて >

○八木委員長：続きまして、**次第の3「今後のスケジュールについて（予定）」**に移ります。

事務局より、説明をお願いします。

○事務局：それでは、**【資料第1号】「今後のスケジュールについて（予定）」**をご覧ください。

こちらは、報告書の作成までのスケジュールお示しした資料となります。検討委員会の開催については、今後も2か月程度に1回のペースで進めていく予定です。

まず、第1回から第4回までは、既に終了している事項となります。こちらは網掛けで表示しておりますので、ご参照ください。

次に、本日（第5回）では、改築範囲の決定について、お話ししました。

次回（第6回）では、「小学校、（中学校・幼稚園）・育成室の必要諸室の考え方について」及び「仮設計画について」、お話しさせていただきます。

第7回では、先行事例の視察を予定しております。現時点では、文京区外を含め、どちらの学校を視察するかは未定ですが、決まり次第お知らせいたします。

第8回では、「改築にあたり配慮すべき事項について」、グループワークを予定しております。内容としては、地域の特色を踏まえ、どのような学校に整備していくのか、また、第7回で予定している学校視察でのご意見などを基に、進めていきたいと考えております。なお、グループワークでまとめたご意見については、委員の皆様にご共有をさせていただきます。

第9回、第10回では、これまでの議論やいただいたご意見を反映させた上で、報告書の素案及び案について、お話しさせていただきます。報告書には、改築の範囲や必要諸室の整理、配慮すべき事項等の基本的な事項を盛り込む予定です。その後、報告書は教育長に提出し、千駄木小学校改築等基本構想検討委員会は閉会となります。事務局からの説明は以上になります。

○八木委員長：ご意見・ご質問のある方はお願いします。

○内藤委員：第7回の視察では区外の施設を検討しているということですが、視察は平日の昼間を予定しているのでしょうか。

○八木委員長：小日向台町小学校の改築基本構想検討委員会の視察では、夏休みの日曜日に日程を調整しました。複数の日程を設定した上で、ご都合の良い日にお越し頂きました。区外の場合には複数の日程調整は難しいかもしれませんが、なるべく皆さんが参加しやすいように、複数の日程を確保できるように調整していく予定です。

○辻委員代理：第10回まで検討委員会がありますが、委員会の閉会までに挙げられた意見をもとにプランができあがるのでしょうか。委員会終了後に皆さんの意見が反映されるタイミングはないのでしょうか。

○事務局：報告書に意見を盛り込むのは第10回委員会が最後になります。第10回で報告書の案を皆様にお示しし、その後は設計業者を選定します。設計業者の選定の際には、報告書をベースにその内容を盛り込んだ設計の提案を業者から頂くこととなります。選定にあたっては、検討委員会の皆さんにもご出席いただく可能性があるため、その際にご確認いただけます。

○八木委員長：皆さんから意見をいただいて報告書ができ、その次に設計業者選定の段階があります。どういう設計業者かを含めて、設計案ではプランや工期を含めて提案いただきます。設計業者が複数いれば、その中から選ぶこととなりますので、その選定委員に皆様の代表に出て頂き、設計業者を決めていただきます。その後は、設計業者もこれまでの委員会の経緯を基に設計を進めていくこととなります。

○沖元委員：学校施設については、幼・小・中一体的改築は文京区内には事例がないということなので、区外への視察になるのでしょうか。視察先は、幼・小・中一体的改築を行った教育機関を選んでいただけるのでしょうか。

○八木委員長：区内では一体的改築の前例がないので区外へ視察することになります。一方で、区内でも新しい学校の建設があり、単独での建替え事例になりますが、最新の校舎の視察という点で、区内外の両方の視察について事務局から案をご提示したいと考えています。

○沖元委員：視察先は1件だけではなく、複数できるということでしょうか。

○八木委員長：一日に複数の視察に行くことも考えられますし、施設見学のスケジュール等についても今後案をご提示したいと考えています。

○蕨委員：本委員会の報告書は、誰に向けて、どんな内容のものなののでしょうか。また、それはどんな形で我々に届けられるのでしょうか。

○八木委員長：本委員会の目的は、委員の皆様と小学校等の改築について検討して、その結果を教育長に報告するというものです。今までの議事録はHPで公開しておりますし、報告書も同様に公開予定です。一定期間が経てば議会にも報告いたします。ただ、報告書の内容が全て現実するかという点も難しい点もあります。他校の事例としては、先日まとめられた小日向台町小学校の報告書をご提示することもできます。

○八木委員長：その他にご意見、ご質問あれば事務局でお伺いし、より良い方向に進めてまいりたいのですが、いかがでしょうか。

(意見、質問無し)

< 4 その他 次回の議題・日程について >

○八木委員長：それでは、次第の4「その他 次回の議題・日程について」に移ります。まず、全体を通して、長澤先生から何かございますか。

○長澤先生：今日は千駄木駅からいつもと違う道を通ってきたら文林中学校と千駄木小学校の間の道に出ました。でもそこからは小学校に入れず、その後道がわからなくなってしまいました。親子がいたので道を尋ねたら、二人で一生懸命教えてくださり、お父さんは先で私が迷っているのではないかと心配してわざわざ自転車で追いかけてきてくれました。体育館の手前にいるのを見て安心して帰られましたが、この町のコミュニティのよさを改めて実感できました。

学校を作る、公共施設をつくるというのは、単に建物を作るだけでなく、景観の豊かさや安全性、コミュニティなど、地域全体を良くするものです。今度の改築計画については、幼・小・中一体的に進めるのが良いのではないかという報告が各方面から頂きました。大きな枠組みとし、自由度の大きい中で総合的に検討するのがよいというご意見だったと思います。もう一つは、順次改築ということになると、小学校から中学校に進学してもずっと工事をしているという子が生まれる可能性もあり、工期中の工事車両に対し、落ち着いた住環境が確保できるか、子ども達の安全や教育環境が保てるかなどについて懸念するご意見も見られました。こういうご意見は、今度の設計にあたっての条件として計画、設計者に伝わるようにすることが大切です。

今後のスケジュールについてですが、これまで、この委員会では、建設するにあたっての条件について検討してきました。そのために、現状についての情報提供やそれを踏まえて改築の是非や順序、範囲等について、どう考えるか話し合ってきたわけです。このような検討段階から住民の人たちが集まって

話し合うという計画の進め方は、皆さんの意見を尊重して学校づくりを進めていくという区の姿勢によるもので、とても素晴らしいと思います。

一方、スケジュール案に今後の進め方として示されているグループワークは、参加の場として具体的に子どもの育つ場について夢を語り合ったり、地域の在り方、地域にとっての学校の在り方について要求や要望を出し合ったりするもので、委員会の検討は新しい段階に入ります。どこまで意見が言えるのかというご質問もありましたが、意見を出し合っただけでそれがかたちになったときに「自分たちの学校ができた」と思えるようなプロセスはとても大切だと思います。

今までは、手順や範囲の検討が中心だったので、改築について夢や思いを語る機会は十分になかったと思いますが、そういう意味ではこれからが本番です。スケジュール案には、第6回委員会の予定として“必要諸室の考え方について”とありますが、どういう諸室が必要かと考えるには、その前にどういう教育を目指すのか、子どもたちにとってどういう育ちの場を用意したいのかなど、皆さんの思いを集めることが必要です。地域を良くするために学校の教育としてこうして欲しいという要望が出され、それを踏まえた上でどういう教室が良いとかなるわけです。

第8回委員会の予定には“改築にあたり配慮すべき事項等について(グループワーク)”とありますが、事務局には、改築における夢や思い、要求要望を出し合えるよう、各回のテーマや具体的な進め方をお考えいただきたいと思います。

進め方として、これまでのように円卓で議論するだけでは一人の発言時間や回数に限られるので、少人数で意見交換できるグループワークの場を設けて存分に意見を出し合い、その内容をグループを超えてみんなで共有できるように工夫していただけるとよいと思います。それがみんなの気持ちを込めた学校づくりへと繋がります。これから報告書作成までの半年ほどの期間、夢を語り合う楽しい時間を過ごせる会になるとよいと思います。

先進校視察も予定されていますが、他の学校ではこんなことも実現していると知ることにより、ヒントを得るだけでなく、固定観念に縛られないで自由に意見を言えるようになる上でも大切なことと言えます。それぞれが感じたり思ったりしたことを共有しながら構想づくりを進めていけるとよいと思います。

○八木委員長：小学校等の改築を検討する際にグループワークを行うのは、文京区では前例がありませんが、長澤先生からご提案いただいて取り入れさせていただきました。例えば、学校で子どもたちが意見交換し、友達の意見から発想が広がるように、本検討委員会でもそのようになるように進めていきたいと思っています。

最後に、事務局から連絡事項をお願いします。

○事務局：次回、第6回の検討委員会につきましては、5月を予定しております。日程については、また改めてご連絡させていただきます。

また、年度が替わりますので、委員の交代もあるかと思いますが、新しい委員の方への委嘱については、4月に別途ご連絡させていただきますので、その際はよろしく願いいたします。

事務局からは、以上となります。

○八木委員長：ありがとうございました。その他、ご確認したいことや質問があればお伺いいたします。

○武井委員：委員の交代についてですが、4月ではなく役員の改選が7月頃となりそうです。

○八木委員長：各団体の進行状況で推薦していただければと思います。代理の方の出席も可能なので、役員候補の方に委員会にご出席頂くこともできます。

○辻委員代理：委員は各団体から1人の出席となり、忙しい中で内容の共有などが難しい場合もあります。役員の出席を1人ではなく、2人にできたら委員の負担も少なく情報共有もでき、発想も広がるかと思いがいかでしょうか。

○八木委員長：委員会運営の関係上、各団体から委員は1人に限らせていただきたいです。参加方法としては傍聴も可能です。傍聴の場合には直接発言はできませんが、委員会での議論内容の共有はできますのでそのようにご検討いただきたいです。

※藤森委員来場

○八木委員長：改築の範囲について委員の皆様にご意見をお伺いしてきたので、ご意見をお願いできませんでしょうか。

○藤森委員：理事会で2回検討し、参加理事の多数意見から一体的改築案を選択いたしました。主な理由を要約しますと、敷地が道路で分断されていることを考えると、一体的改築についての敷地的なメリットが今一つはっきり掴めないという意見もありました。全体の工期、工事用の道路、これらの問題を考えた上で一体的改築案の選択となった。付け加えると、理事の方の中には小学校単独での改築を望まれる方もおられて、その理由としては、一体的な改築によって施設が共用使用されると伝統のある学校の独自の教育カリキュラムの運営について差し障りができてくる点を懸念されていました。

○八木委員長：他の方々も全員が改築の範囲は一体的改築とのご意見をいただきました。そのご意見の理由については時間の関係上割愛させていただきます。

それでは、第5回検討委員会を終わります。皆様ありがとうございました。

千駄木小学校の山口校長先生には、明後日の卒業式を前に、華やかな会場をお借りできましたこと感謝申し上げます、ありがとうございました。

<閉会>